

## 安全に関する改善提案

記入日: 2006 年 3 月 27 日

(所属会社)

(氏名)

(連絡先電話番号)

記入者:

設計・施工区分	工 種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類
設計	コンクリート堤体工	墜落・飛来落下・倒壊・	設備・人的要因	型枠支保工組立・解体作業

改善の概要: 放流ゲート操作室スラブのPC化

放流ゲート操作室等の天井スラブをPC化することによって、通常の型枠支保工を省略する。

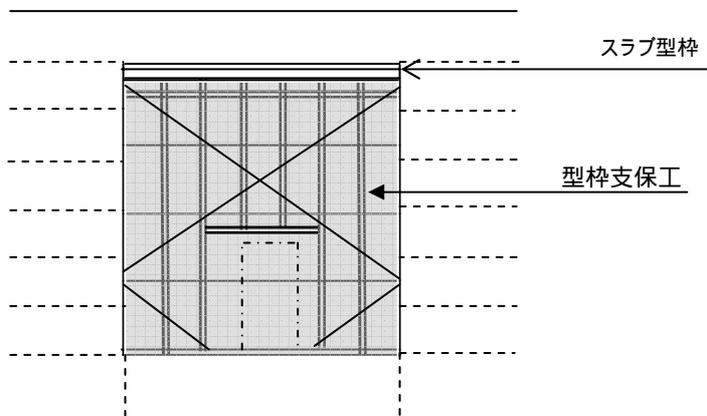
メリット:

高所での危険作業を省略できる  
 飛来落下のおそれのある作業を省略できる  
 支保工倒壊による災害も無くなる。

デメリット:

堤体内の大規模開口部断面であり、応力計算により安全を確認する必要がある。  
 従来の型枠支保工方式に比べ、コスト増につながる可能性がある。  
 PC部材によっては、大きな揚重機が必要になる。

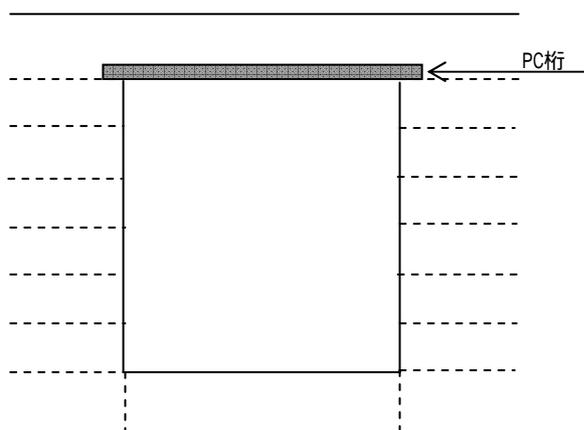
改善前 (略図または写真)



従来の操作室スラブ施工実施例

従来は、操作室スラブの当該リフト打設に際して下部より型枠支保工を組上げるかブラケット併用の支保工を組上げ、所定の養生後解体していた。また、操作室内にはゲート操作装置や操作盤が既に設置されている場合が多く、支保工の組み立てを困難にしている。

改善後 (略図または写真)



操作室スラブをPCにした場合

スラブのプレキャスト部材はPC桁やPC床盤を採用する。